

佐賀県感染症発生動向調査速報

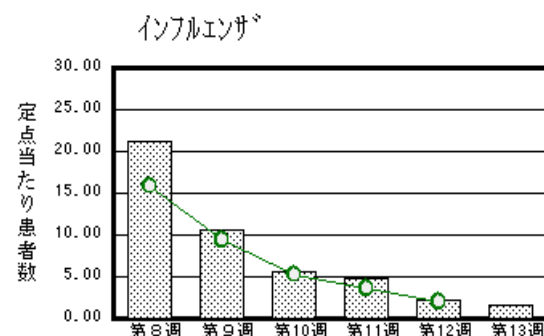
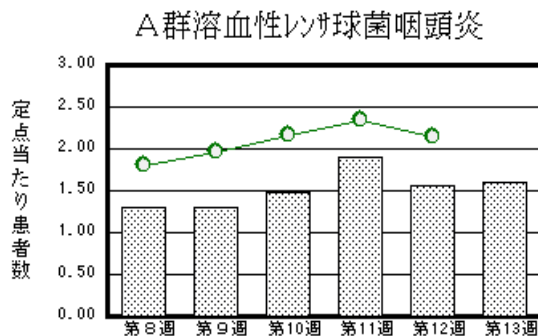
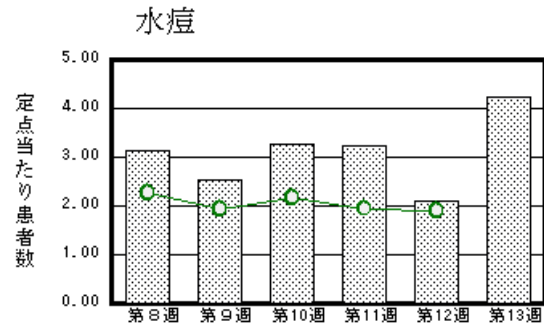
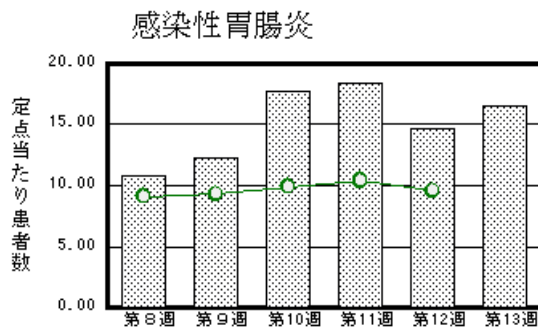
平成16年第13週 平成16年3月22日(月)～平成16年3月28日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (379名) 水痘 (97名) インフルエンザ (69名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (37名) 流行性耳下腺炎 (31名)
- 【感染性胃腸炎】患者報告数は、前週減少に転じましたが、今週は再び増加しました (37名 379名)。特に、鳥栖保健所(定点当たり患者数27.00)、唐津保健所(同24.75)、杵藤保健所(同21.60)管内の定点当たりの患者報告数が多くっており、注意が必要です。手洗いや食材の十分な加熱を心がけ、感染予防に努めましょう
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】前週に引き続き、過去5年間に比較してやや患者報告数が多くなっています。全国的に同様の傾向です。幼児、学童に多く発生しますので、外出から帰ったら、うがい、手洗いを行いましょう
- 【高病原性鳥インフルエンザ】佐賀県のホームページをご覧ください。
http://www.pref.saga.jp/nourin/chikusan/tori_inf/tori_inf.htm



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第11週号 (3月8日～3月14日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第11週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は過去10年間で最高の値となっている / その他最新動向 < 2月 > 性感染症 薬剤耐性菌感染症 結核について
・ 注目すべき感染症	< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 昨年までに比べて非常に報告数が増えている < 風しん > 本年は昨年に比べて、学童期や20歳以上の年齢からの報告の割合が高くなっている
・ 病原体情報	患者から分離 検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン
・ 速報	< 今週は該当記事はありません >
・ 海外感染症情報	< 今週は該当記事はありません >
・ 感染症の話	< ノロウイルス感染症 > 日本では12月から3月をピークにして全国的に流行する、ノロウイルスによる急性胃腸炎である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第13週 平成16年3月22日 (月) ~ 平成16年3月28日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第12週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	8 0.62	7 1.40	20 2.86	8 1.60	16 1.78	59 1.51	86 2.21	9574 2.04
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								98
	咽頭結膜熱				3 1.00	1 0.20	4 0.17	6 0.26	725 0.24
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	14 1.75	10 3.33	5 1.25	1 0.33	7 1.40	37 1.61	36 1.57	6533 2.15
	感染性胃腸炎	71 8.88	81 27.00	99 24.75	20 6.67	108 21.60	379 16.48	337 14.65	28988 9.54
	水痘	22 2.75	25 8.33	16 4.00	9 3.00	25 5.00	97 4.22	48 2.09	5793 1.91
	手足口病		3 1.00			1 0.20	4 0.17	6 0.26	151 0.05
	伝染性紅斑					1 0.20	1 0.04		999 0.33
	突発性発しん	6 0.75	3 1.00	3 0.75	1 0.33	3 0.60	16 0.70	24 1.04	1722 0.57
	百日咳								31 0.01
	風しん								150 0.05
	ヘルパンギーナ							2 0.09	104 0.03
	麻しん (成人 麻しんを除く)								45 0.01
	流行性耳下腺炎	9 1.13		15 3.75		7 1.40	31 1.35	25 1.09	1729 0.57
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								17 0.03
	流行性角結膜炎	2 1.00					2 0.50	3 0.75	518 0.81
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								8 0.02
	無菌性髄膜炎								16 0.03
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50		1 1.00		1 1.00	3 0.50	2 0.33	87 0.18
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)							1 0.17	4 0.01
	成人麻しん								3 0.01

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は11週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第13週 平成16年3月22日(月)~平成16年3月28日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				2	1									6ヶ月未満								
12ヶ月未満	2	12ヶ月未満		1		23	4			8						12ヶ月未満								
1歳	8	1歳			1	87	24	2		8					2	1歳								
2歳	3	2歳		2	2	55	17	1							6	2歳								
3歳	6	3歳			4	51	9		1						7	3歳					1			
4歳	4	4歳			10	34	19	1							2	4歳		1						
5歳	3	5歳			6	35	11								5	5歳								
6歳	3	6歳		1	5	18	6								3	6歳								
7歳	9	7歳			4	21	2								2	7歳								
8歳	2	8歳			1	16	1								2	8歳					2			
9歳	2	9歳			1	7	1									9歳								
10歳~14歳	6	10歳~14歳			1	17	2								1	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳			1											15歳~19歳								
20歳~29歳	4	20歳以上			1	13									1	20歳~29歳								
30歳~39歳	4															30歳~39歳		1						
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳	2															50歳~59歳								
60歳~69歳	1															60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	59	合計		4	37	379	97	4	1	16					31	合計		2			3			
前期計	86	前期計		6	36	337	48	6		24			2		25	前期計		3			2	1		
当期間/前	0.69	当期間/前	***	0.67	1.03	1.12	2.02	0.67	***	0.67	***	***		***	1.24	当期間/前	***	0.67	***	***	1.5		***	
増減数	-27	増減数		-2	1	42	49	-2	1	-8			-2		6	増減数		-1			1	-1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

